

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ゴロー		公表日		令和7年 3月 19日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4	少々狭いが各々が好きなスペースが分かれており、個室内の住み分けが出来ている。	ホールを使える時間が限られている。場合によっては外出も検討していく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	人員は少ないが大人しい利用者様も多いのでまとまって活動する事で人員の少なさを補っている。	マンツーマン対応の利用者様がいる時には人員を厚くしているが、利用者様が増えたり送迎をする事を考えると増員も必要となってくる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	利用者様によって理解度の違いはあるが、全員が理解できるよう伝え方に気を付けている。	様々な活動をするうえで配置は今後も検討していく。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	清掃・消毒はしっかりと行っている。利用者様も使ったものは片付けるのである程度の整理も出来ている。	感染症の拡大防止のためにも今後も清掃・消毒には注意していく。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3	定期的に職員間でミーティングをして情報の周知を行なっている。	ミーティングノートも活用し、業務の向上・改善もしていく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	支援計画の作成時などにも面談の機会を設け業務改善に生かしている。	送迎時の保護者様の言葉にも耳を傾け、細やかな対応をしていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	ミーティング時にスタッフの意見を聞き業務改善に生かしている。	日々の業務内でも気になった事は周知し、業務改善につなげていきたい。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	第三者による外部評価を行っていない。	今後検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	社内研修・社外研修には参加するようにしている。	スタッフ全員のスキル向上のためにも研修には出来るだけ参加するようにしたい。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	今年度より支援プログラムをHPに掲載していく。	プログラムを基により良い支援計画を作成していきたい。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	保護者様や相談事業所の情報と日々の活動などから状況を把握するように努めている。	心理士のような専門的な物は使っておらず、日々の状況や情報を基にアセスメントをしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	ミーティングなどを含めプログラムの立案を行っている。	長期休みを含め朝から利用者様がいる時にしかレクリエーションを企画できていない。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2	天候・利用者様の状態によってレクリエーションを企画している。	平日などは来所から帰宅まで時間がなく、決まった活動になりがち。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	集団活動が難しい利用者様には個別の活動も出来るようにしている。	集団活動を拒否される場合はご本人の気持ちを優先して無理には誘わないが、少しでも集団に慣れてもらえるよう動いていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	送迎の担当や前日あったことなどの確認を行っている。	支援の役割分担などは今後もう少し話し合っていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5	特に問題がない場合は打ち合わせを行っていない。	必要に応じて検討も行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	記録を取り、振り返りも行っている。	いつもと違う出来事があれば検証も行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	3	創作活動も行いながら自立に向けた支援を行っている。	地域との交流はあまり行えていないので今後検討していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	主に児童発達管理責任者が参加している。	担当以外のスタッフでも状況が理解できるようにする。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	学校や事業所とは連携できるように取り組んでいる。	医療機関なども地域連携の一つとして考えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5	現状高校生が主軸となっている為連携をしていない。	今後小学校低学年の利用が入った場合検討していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	学校から卒業後の進路を教えて頂き、情報の共有をしている。	お互いに情報共有する事で今後のつながりを深めていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	連携を図り情報の共有をしている。	他事業所とも事例報告会を行っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	現在行っていない。	今後必要に応じて行っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	現在あまり行えていない。	今後要請があれば参加をしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	面談の時などに情報の共有などは行っている。	保護者様が日々の対応に困っているようであれば一緒に考えていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2	利用開始前にこれらの説明を行っており、疑問などが出た場合にはその都度説明をしている。	面談時などにも再度説明をし、変更点があった時などは速やかに説明を行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	利用者様の年齢から子育ての悩みは聞かれない。	将来についての話に関してはこちらからわかる情報を提供させて頂いている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	現在行なっていない。	保護者様の方で希望があれば実施も検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	5	ほとんど行っていない。	長期休みのレクリエーション企画については参加者にお便りを出している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	地域の人が参加できる行事は行っていない。	今後必要があれば実施を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全計画を作成し、必要な措置があれば実施している。	掲示物で知らせているが分かりやすいよう情報を伝えていくことも必要。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	面談等で安全管理についてお話し、取り組みについてお伝えしている。	面談だと期間が開いてしまうため送迎時などにも変更があったら伝えていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				